

令和7年度 産業技術連携推進会議 近畿地域部会 第19回デザイン分科会

議事録

1. 日 時 令和7年12月8日（月）13：30～17：00
2. 場 所 （地独）京都市産業技術研究所 5階 講義室B  
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町 91 京都リサーチパーク 9号館南棟
3. 開催方法 現地とオンライン（ZOOM）の併用
4. 出席機関 現地12名 オンライン19名（内、講演会のみ13名）  
計31名（19機関）



5. 議題等

【分科会長挨拶】（地独）京都市産業技術研究所 理事・研究室長 中村 俊博

地域のデザイン振興への寄与のためには、各機関の専門知識、技術、豊富な経験の共有と連携が不可欠であること、デザインは技術を社会実装し、環境問題や福祉向上といった課題解決のためのツールとして重要であるとの話があった。

【各機関の事業、活動報告】

6. 各機関からの事業報告概要

- 福井県工業技術センター  
3D スキャンデータを用いた文化財の商品開発研究を実施。工業技術センターの職員が派遣されている公益財団法人では、ブランディング支援やクリエイター育成など

を実施。今年度から、機械系、プラスチック系、デザイン系の職員が同じ部屋で作業できるデジタルエンジニアリング室を設置する。

- 滋賀県工業技術総合センター  
総合技術センター：視覚障害者向けの立体日本地図パズル制作支援事例を紹介。  
東北部工業技術センター：令和 8 年秋にオープン予定の新工業技術センター（米原駅前）の概要を紹介。オープンラボやオープンサロンを整備予定。令和 7 年度活動では、学び直しのための動画を作成し、YouTube で公開。また滋賀県開催の国スポ・障スポのトーチやメダルのデザインを紹介。
- 兵庫県立工業技術センター  
外部資金を活用し、作業補助具のパーソナライゼーションデザインや形状研究といった研究開発を実施。「身体適合型自転車フレームのカスタムメイドデザイン」プロジェクトで試作した自転車フレームが、日本鑄造工学会の「Castings of the Year」を受賞。
- 京都府中小企業技術支援センター  
3 万人規模のスタートアップイベント IVS の運営支援に従事し、Figma を活用した効率的なデザイン作業について報告。市内企業による伝統工芸と工業のコラボ製品展示や、文化体験の感性評価に関する研究連携の動きを紹介。
- 京都市産業技術研究所  
伝統産業技術後継者育成研修（京友禅、漆工、陶磁器など）で行っているデザイン指導や撮影講座を紹介。デザイン分野における生成 AI 活用に関する調査研究を立ち上げ、活用事例や知財課題の調査を実施中。

## 7. 質疑応答・意見交換

各地の報告についての質疑の他、機器利用件数の評価についての各地の状況、デザイン部門と技術分野との連携、スタートアップ支援の状況などについて意見交換を行った。

## 8. 報告事項

- 令和 7 年度活動報告案 : 提案通り承認された。

## 9. 審議事項

- 令和 8 年度事務局の選任:
  - 来年度は福井県の予定であったが、滋賀県東北部工業技術センターが新センター（令和 8 年秋オープン予定）での開催を希望。
  - 福井県と滋賀県で調整し、令和 8 年度の開催を滋賀県、令和 10 年度の開催を福井県とする変更案が提案され、承認された。

- 令和8年度活動方針（案）：提案通り承認された。

## 9. 講演会

「素材に触れて心に触れる 京都発・科学と工芸が共鳴する EXPO2025 展示の舞台裏」（有限会社ジャパンスマイルシステム代表取締役 川邊祐之亮氏）

大阪・関西万博での新素材を活用した展示ブースのデザインや、工芸と科学の融合をテーマにしたプロジェクト、万博プロジェクトの裏側やアナログな体験の重要性、産業デザインの新しい視座などについて、講演が行われた。

※本講演会は、ライフサイエンス部会デザイン分科会会員にも参加を呼びかけ13名（公設試11、産総研2）参加が参加。



【出席機関名簿】

機関名	部署名	氏名	本会議	講演会
○近畿地域部会デザイン分科会			リアル	オンライン
福井県工業技術センター	化学・繊維部 セラミック	呉藤 勝彦		○
	ス・工芸研究グループ	松嶋 茜		○
滋賀県工業技術総合センター	食品・プロダクトデザイン係	野上 雅彦	○	○
滋賀県東北部工業技術センター	機械システム係	山下 誠児	○	○
京都府中小企業技術センター	企画連携課 デザイン情報係	松井 洋泰	○	○
		片瀬 奈緒子	○	○
兵庫県立工業技術センター	生産技術部	平田 一郎	○	○
	技術企画部	森 亮太		○
産業技術総合研究所	関西センター	木原 和彦		○
		斎藤 俊幸	○	○
(地独)京都市産業技術研究所	理事・研究室長	中村 俊博	○	
	知恵産業融合センター 知恵産業推進グループ	比嘉 明子	○	○
		竹浪 祐介	○	○
		松原 剛	○	○
		沖田 実嘉子	○	○
○オブザーバー				
千葉県産業支援技術研究所	生産技術室	岡村 成将	○	○
沖縄県工業技術センター	機械・金属班	亘保 秀一		○
奈良県産業振興総合センター	デジタル技術支援科	澤島 秀成		○
○講演会聴講				
静岡県工業技術研究所	ユニバーサルデザイン科	易 強		○
山梨県産業技術センター	デザイン技術部	鈴木 文晃		○
(地独)青森県産業技術センター弘前工業研究所	デザイン部	赤田(深澤) 朝子		○
福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター	産業工芸科	安藤 久人		○
埼玉県産業技術総合センター	デザイン支援	穂谷 薫		○
徳島県立工業技術センター		室内 聡子		○
北海道立総合研究機構	産業技術環境研究本部	橋場 参生		○
(地独)山口県産業技術センター	技術支援部製品技術グループ	原 涼輔		○
(地独)鳥取県産業技術センター		亀崎 高志		○
鹿児島県工業技術センター		山田 淳人		○
(地独)東京都立産業技術研究センター	城東支所	加藤 貴司		○
産業技術総合研究所	人間社会拡張研究部門	小島 一浩		○
		宮田 なつき		○

人数 12 6 30